

高等学校 令和 5 年度（2 学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

使用教科書：（ NEW FAVORITE English Logic and Expression II [東京書籍] ）

【学びに向かう力、人間性等】相手に自分の意思を表現したり説得する際に、相手の立場を理解できるような人間性や学びに対する真摯さを培う

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英単語や英熟語の暗記に取り組み、正しい英語の語順で英文を作り伝達できる知識と技能を伸ばしていく。	正しい英文を運用する力を身に着けたうえで、相手に伝えたいことを論理的に表現できるよう、伝え方を考えていく力を身に着けさせる。	英語で表現する事で、異なった文化をもつ世界中の人々と論理的に表現し、意思疎通と共通理解を図ろうとする人間性や相手を思いやる表現に気をつけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 ヤ 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	単元：関係代名詞 【知識及び技能】 関係代名詞を的確に使う 【思考力、判断力、表現力等】 文型を意識し、自己表現を行う 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：FACTBOOK English Grammar ：英単語Stock 3000 ：英文法ワークショップ ・一人1台端末の活用 等	○				○	・関係詞を使って1文で簡潔に複雑な構文を使って伝えることができる。 ・中学で学習した、who/ahich以外のwhose, whomを導入し適切に使い分けことができる。 ・相手（話し手や読み手）に対して、わかりやすく論理的に伝えようとしている態度を見る。	○	○	○	5
	B 単元：関係副詞、その他関係詞 【知識及び技能】 関係副詞と関係代名詞の違い 【思考力、判断力、表現力等】 文型を意識し、自己表現を行う 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：FACTBOOK English Grammar ：英単語Stock 3000 ：英文法ワークショップ ・一人1台端末の活用 等		○			○	・関係代名詞と関係副詞の違いを理解し、適切に使い分けすることができる。 ・関係詞whatの名詞節を理解し、自在に活用できる。 ・相手（話し手や読み手）に対して、わかりやすく論理的に伝えようとしている態度を見る。	○	○	○	5
	定期考査								○	○	○	1
	C 単元：複合関係詞/否定表現 【知識及び技能】 関係詞のバリエーションを増やす 【思考力、判断力、表現力等】 部分否定など否定のニュアンスを使い分け表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：FACTBOOK English Grammar ：英単語Stock 3000 ：英文法ワークショップ ・一人1台端末の活用 等		○			○	・wh-everなど2つの使い方を学び、適切な表現ができる。 ・部分否定や二重否定など否定にも様々な表現方法があることを理解し、使い分ける。 ・notなど否定表現を使わない否定用法を使って表現する事ができる。	○	○	○	6
	D 単元：仮定法 【知識及び技能】 直説法と仮定法の違い 【思考力、判断力、表現力等】 願望や婉曲表現を活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：FACTBOOK English Grammar ：英単語Stock 3000 ：英文法ワークショップ ・一人1台端末の活用 等		○			○	・中学既習事項だが、仮定法過去と仮定法過去完了の正しい表現方法を確認する。 ・心の中の表現のバリエーションを仮定法を利用して表現できる。 ・自己表現をする中で語彙力が上がっているか単語小テストでの定着度ををはかる。	○	○	○	8
	定期考査								○	○	○	1
2 学 期	単元：様々な否定表現、無生物主語 【知識及び技能】 使役動詞の使い方など無生物主語の文型に習熟する 【思考力、判断力、表現力等】 文型を意識し、自己表現を行う 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：FACTBOOK English Grammar ：英単語Stock 3000 ：英文法ワークショップ ・一人1台端末の活用 等		○	○		○	・中学既習事項から高校2年生までの基礎的な文型を身に着け、適切な単語を覚えて自己表現できるようにする。 ・Stock3000についてはほぼ1周して、2回目の単語テストへと移行していく。	○	○	○	13
	D 単元：時制、受動態、助動詞 【知識及び技能】 直説法と仮定法の違い 【思考力、判断力、表現力等】 願望や婉曲表現を活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：Grammar Collection ：英単語Stock 3000 ：英文法Follow Up ・一人1台端末の活用 等		○	○		○	入試問題を使って、一步踏み込んだ英語力を身につける。	○	○	○	13
3 学 期	D 単元：不定詞・動名詞・分詞 【知識及び技能】 準動詞が、名詞・形容詞・副詞のどの働きを行うか。 【思考力、判断力、表現力等】 準動詞で表現の幅を膨らませる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる	・指導事項 ・教材 ：Grammar Collection ：英単語Stock 3000 ：英文法Follow Up ・一人1台端末の活用 等		○	○		○	入試問題を使って、一步踏み込んだ英語力を身につける。 ・準動詞を復習し、入試レベルの表現に慣れていく。	○	○	○	18 合 計 70